

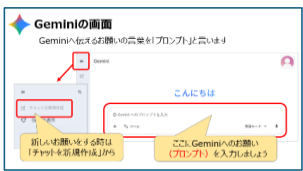
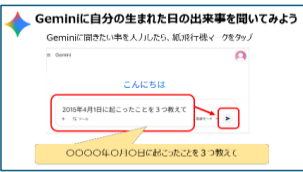
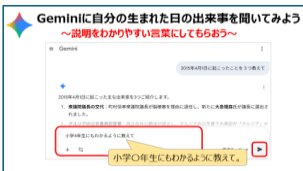
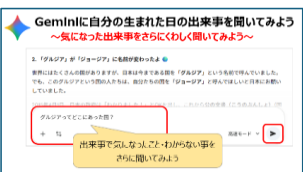






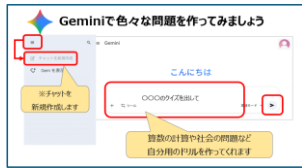
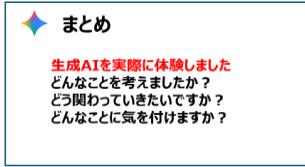
# はじめての生成AI（Gemini）

小学3年生～中学生（1時間）

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生成AIとは（仕組みや注意点）を理解する。</li> <li>Google Geminiを利用して具体的な操作を行い、プロンプト入力による壁打ちや判断ができるようになる。</li> </ul>
------	---

時間	内容	詳細
0:00	本日の内容説明	はじめてのAI（Gemini）
0:02 2分	導入「AIって何？」 	〔身近な生活でのAI活用の説明〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>AIとは人工知能のことで、人間のように考えたり学んだりするコンピュータ技術。</li> <li>身の回りにもたくさんのAIが活用していることを確認する。</li> </ul>
0:04 3分	AIってどうやって学ぶの？ 	<ul style="list-style-type: none"> <li>世の中の人が入力した情報を学習し、ルールやパターンを見つけていくことを知る。</li> </ul>
	AIもまちがえることがあります 	<ul style="list-style-type: none"> <li>世の中の人が入力した情報から答えを出しているので、たまに間違えることもあることを伝える。</li> <li>【ポイント】 情報の不確かさを知り、事実を確認する癖をつける。</li> </ul>
0:07 5分	AIって？全部正しいの？ 	<ul style="list-style-type: none"> <li>文科省作成動画視聴</li> </ul>
0:12 2分	Geminiをつかって何ができるの？ 	<ul style="list-style-type: none"> <li>AIの得意なことが例示されているので、児童・生徒に伝える。</li> <li>【ポイント】</li> <li>あくまでも「サポートをしてくれる存在」という認識を伝える。</li> </ul>
0:14 4分	Geminiを安全に使うためのルール <b>【重要】</b> 	<b>【ポイント】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>本当に正しいか確かめよう！</li> <li>「AIはなんでも正しいかのように伝えます。これまで学習した情報をもとにAIが作った答えですので、出典等元の情報を必ず確かめましょう。」</li> <li>個人情報教えないで！</li> <li>「AIは入力した情報を学習して、他の人への回答として出します。なので、住所、名前、家族のことなど大切な個人情報は入力してはいけません。」</li> <li>Geminiの作品を自分が作った作品にしません！</li> <li>「Geminiに作らせたものを自分の作品として発表することや、誰かのそっくりを作ったりしてはいけません。」</li> </ul>

時間	内容	詳細
0:18 4分	<p>さあ！Geminiをつかってみよう</p> 	<p>使い方の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・左下のランチャーをアップして「Gemini」アプリをタップ</li> <li>または、Chromeブラウザを起動し左上のおすすめをタップして、Geminiを起動しましょう。</li> </ul> <p>開いているかどうか、児童・生徒の状況を確認する。</p>
	<p>さあ！Geminiをつかってみよう</p> <p>はじめてGeminiを使うときは下の画面を順番にタップしてね</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめてGeminiを開くと、スライドのように表示がされるので、順にアクセスしていく。</li> </ul> <p>Gemini→Geminiと話そう→Geminiを使用→閉じる</p>
	<p>Geminiの画面</p> <p>Geminiへお話ししたい言葉をプロンプトと言います</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい会話の始め方を伝える。</li> </ul> <p>Geminiを開くと新しい会話の画面が開かれますが、新たに会話を始めたいときは左側三本線より「チャットを新規作成」を選ぶ。</p>
0:22 9分	<p>Geminiに自分の生まれた日の出来事を聞いてみよう</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の生まれた日に起こったことを教えてもらう。</li> </ul> <p>ここで、名前を入れないように注意する。</p> <p>例「2015年4月1日に起こったことを3つ教えて」</p>
	<p>説明をわかりやすい言葉にしてみよう</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の学年を入れ、言葉をやさしくしてもらう。</li> </ul> <p>【ポイント】</p> <p>壁打ち・対話という使い方を体験させる。</p>
	<p>気になった出来事をさらに詳しく聞いてみよう</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出てきた答えから、気になったことやわからないことをAIに聞く。</li> </ul>
0:31 2分	<p>AIとは会話しているように回答してくれます</p> 	<p>「検索」は質問の答えがもらえます。</p> <p>何度も質問をする「壁打ち」をすることで、いろいろな情報を受け取ることができます。</p> <p>【ポイント】</p> <p>「検索」と「壁打ち」の違いについて学ぶ。</p>

時間	内容	詳細
0:33 10分	<p>Geminiにクイズをつくってもらおう 例</p>  	<p>学年・教科・単元などを入力し、問題を作ってもらい、解答させる。 指示を出すと、クイズ形式で表示されるので実際に解答をしてみる。 練習用サンプルプロンプト例 「小学生むけに柏市クイズを出して」 「中学生むけに千葉県クイズを出して」</p> <p>【ポイント】 練習用に小・中スライドが用意されているので、必要なスライドを提示する。問題の内容は授業の内容を反映するなど修正可。</p>
		<p>クイズは4択の選択形式で出題されます。 実際に解答してみましょう。</p>
		<p>使い方を覚えたら、算数の計算や社会科の問題など自主勉強のための問題作りなどに活用できることを説明（または体験）</p>
0:43	<p>まとめ</p> 	<p>全体を通してのまとめ</p> <p>【ポイント】 生成AIについてどう感じたかを共有する。 使うことが当たり前の時代になるので、どう関わるかや、気を付けるポイントについて確認をする。</p> <p>①本当に正しいか確かめる。 ②個人情報は教えない。 ③AIが作ったものを自分のものにしない。</p>